

一般社団法人日本地域看護学会

2024 年度社員総会

- I. 日 時 2024 年 6 月 28 日（金）17：00～18：00（受付・開場：16：45）
- II. 場 所 TKP ガーデンシティ PREMIUM 仙台西口「カンファレンスルーム 7D」
（〒980-0013 宮城県仙台市青葉区花京院 1-2-15 ソララプラザ）

III. プログラム

1. 開会の辞
2. 議事録署名人の決定
3. 議題の承認
 1. 2023 年度事業報告について **【第 1 号議案】**
 - 1) 2023 年度事業報告
 - 2) 2023 年度委員会活動報告
 - (1) 編集委員会
 - (2) 研究活動推進委員会
 - (3) 広報委員会
 - (4) 教育委員会
 - (5) 国際交流推進委員会
 - (6) 表彰論文選考委員会
 - (7) 災害支援のあり方検討委員会／健康危機支援委員会
 - (8) 実践促進委員会
 - (9) 次世代育成推進委員会
 - (10) 地域看護関連学会合同委員会
 2. 2023 年度収支決算について **【第 2 号議案】**
 3. 2023 年度監査報告について **【第 3 号議案】**
 4. 2024・2025 年度事業計画について **【第 4 号議案】**
 5. 2024 年度収支予算について **【第 5 号議案】**
 6. 名誉会員の推薦について **【第 6 号議案】**
 7. その他
4. 第 29 回学術集会長の紹介
5. 第 27 回学術集会および第 28 回学術集会のご案内
6. 意見交換
7. 閉会の辞

IV. 資 料

資料 1-1	2023 年度事業報告書	1
資料 1-2	2023 年度委員会活動報告書	4
資料 2	2023 年度収支計算書・財産目録・貸借対照表	14
資料 3	2023 年度監査報告書	18
資料 4	2024・2025 年度事業計画書	20
資料 5	2024 年度収支予算書	22
資料 6	名誉会員候補者一覧	24
資料 7	役員・社員名簿	25

一般社団法人日本地域看護学会 2023 年度事業報告書

I. 会員数

1. ブロック別会員数

2024 年 5 月 1 日現在

ブロック	都道府県	会員数
北海道・東北	北海道、青森、秋田、宮城、山形、福島、岩手	143
関東	群馬、茨城、栃木、千葉、埼玉、神奈川	324
東京都	東京都	156
甲信越・中部	静岡、愛知、岐阜、三重、福井、富山、石川、長野、山梨、新潟	275
関西	滋賀、大阪、京都、奈良、兵庫、和歌山	228
中国・四国	岡山、広島、島根、鳥取、山口、高知、香川、徳島、愛媛	137
九州・沖縄	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、鹿児島、宮崎、沖縄	110
会員数合計		1,373

2. 経年会員数推移

総会報告時

年度	会員数	対前年度比	年度	会員数	対前年度比
1998	420	—	2012	1,298	100%
1999	569	135%	2013	1,312	101%
2000	695	122%	2014	1,339	102%
2001	794	114%	2015	1,417	105%
2002	918	115%	2016	1,404	99%
2003	935	101%	2017	1,441	102%
2004	976	104%	2018	1,438	99%
2005	1,068	109%	2019	1,424	99%
2006	1,128	105%	2020	1,413	99%
2007	1,172	103%	2021	1,405	99%
2008	1,241	105%	2022	1,396	99%
2009	1,265	101%	2023	1,388	99%
2010	1,360	107%	2024	1,373	99%
2011	1,286	94%			

II. 事業報告

1. 理事会を開催した。

会議名	開催日・方法	主な議題
2023 年度 第 1 回理事会	2023 年 5 月 14 日 Zoom によるオンライン会議	2022 年度事業報告、決算・監査報告、2023 年度事業計画、予算、名誉会員候補者、ユース会員設置に伴う定款の変更について、第 28 回学術集会長について等
2023 年度 第 2 回理事会	2023 年 6 月 25 日 TKP 品川カンファレンスセンター ANNEX「ルーム 5」	2023 年度社員総会について、新役員の体制案について、JANA 2023 年度社員総会について等

会議名	開催日・方法	主な議題
2023 年度 第 3 回理事会	2023 年 7 月 22 日 Zoom によるオンライン会議	2023 年度理事会活動計画について、委員会の委員と活動計画について等
2023 年度 第 4 回理事会	2023 年 10 月 29 日 Zoom によるオンライン会議	第 27 回学術集会 理事会セミナーの企画について、個人情報取扱規程の整備について、HP の改修について等
2023 年度 第 5 回理事会	2024 年 2 月 4 日 Zoom によるオンライン会議	2024 年度社員総会、2023 年度事業報告、中間決算報告、2024、2025 年度事業計画、2024 年度予算等

※その他、監査および委員会における会議（詳細は各委員会の報告書を参照）を適宜開催した。

2. メール審議を実施した。

回数	審議結果報告日	議 題	結 果
第1回	2023年12月10日	表彰論文の選考について	全会一致で承認した

3. 社員総会を開催した。

会議名	開催日・場所	主な議題
2023 年度 社員総会	2023 年 6 月 25 日 TKP 品川カンファレンスセンター ANNEX「ルーム 5」	事業報告、決算・監査報告、事業計画、予算、名誉会員、役員の選任等

4. 会員報告会を第 26 回学術集会会期中に開催した。

5. 第 26 回学術集会を開催した。

テーマ：「みんなで創る地域包括ケアシステム」の今を検証する

学術集会長：荒木田 美香子（川崎市立看護大学 副学長）

会 期：2023 年 9 月 2 日（土）～9 月 3 日（日）

（Web 開催）～ 10 月 31 日（火）

参加者数：814 名（会員 422 名、非会員 352 名、学生 40 名）

6. 第 26 回学術集会時に理事会企画セミナーを実施した。

テーマ：ウイズ・アフターコロナにおけるポジティブメンタルヘルスの展望

講 師：川上 憲人氏（東京大学大学院医学系研究科デジタルメンタルヘルズ講座 特任教授／
一般財団法人淳風会 代表理事，理事長）

7. 日本地域看護学会誌第 26 巻第 1 号（2023 年 4 月 20 日発行）、第 2 号（2023 年 8 月 20 日発行）、第 3 号（2023 年 12 月 20 日）を電子体で発行した。

8. 地域看護学に関する研究活動を推進し、研究セミナーをオンライン開催にて実施した。

会 期：ライブ配信：2024 年 3 月 9 日（土）13：00～15：30

オンデマンド配信：3 月 24 日（日）まで

テーマ：複線径路等至性アプローチ（TEA）とモデリング（TEM）の理論と実際

理論編「TEA と TEM の理論的基盤と基本」

実践編「奨励論文賞を受賞した TEM を用いた研究紹介」

講 師：安田 裕子氏（立命館大学大学院人間科学研究科）

小路 浩子氏（神戸女子大学看護学部看護学科）

参加者：168名（会員146名、非会員8名、学生14名）

9. 地域看護学に関する広報活動を強化した。
 - 1) 学会 HP のセキュリティ強化（SSL 化）ならびに会員専用サイトの検討を行った。
 - 2) 東北地方等地域包括支援センターの看護・介護職に対する調査および学術集会に関する広報活動を行った。
10. 地域看護学に関する教育のあり方について検討した。
11. 地域看護学に関する国際的な交流を行い、News Letter No.22 を発行した。
12. 日本地域看護学会表彰制度を運営し、規程に基づき表彰論文の決定と名誉会員候補者の検討を行った。
 - 1) 表彰論文（優秀論文 1 編、奨励論文 2 編）
 - (1) 優秀論文
タイトル：男性高齢者の社会活動への参加要因に関する研究（原著）
著 者：森永朗子・原田春美・緒方久美子・兼岡秀俊（敬称略）
巻 号：第 25 巻第 1 号，4-11，2022
 - (2) 奨励論文 1
タイトル：全国市区町村における災害時の共助を意図した平常時の保健師活動（研究報告）
著 者：細谷紀子・佐藤紀子・杉本健太郎・雨宮有子・泰羅万純（敬称略）
巻 号：第 25 巻第 2 号，4-12，2022
 - (3) 奨励論文 2
タイトル：独居高齢者の低栄養の高リスクと身体的・心理社会的健康との関連（研究報告）
著 者：廣地彩香・上野昌江・大川聡子・根来佐由美（敬称略）
巻 号：第 25 巻第 1 号，31-39，2022
 - 2) 名誉会員候補者（1 名）
氏 名：村嶋 幸代氏（湘南医療大学大学院）
13. 災害に対する支援のあり方を検討した。
14. 地域看護学における実践活動を促進した。
15. 地域看護学における次世代育成を推進し、LINE オープンチャット「地域看護の次世代を考えるグループ」の開設・運営、YouTube チャンネルにおいてライブ配信やショート動画の公開を行った。
16. 看護系学会・公衆衛生関連学協会との連携を進め、活動に参画した。
全国公衆衛生関連学協会連絡協議会 2023 年度学術集会（2024 年 3 月 16・17 日）では、河野あゆみ副理事長が「日本地域看護関連 3 学会の取り組みと本会の人材育成の方向性」をテーマに講演を行った。
17. 地域看護学の定義を踏まえ、関連学会である日本公衆衛生看護学会、日本在宅看護学会とともに地域看護関連学会合同委員会を立ち上げ、地域看護学、公衆衛生看護学、在宅看護学の概念整理等を行った。
18. 令和 6 年能登半島地震被災会員に対して、申請に応じて年会費を免除する措置を講じた。
19. 会員数増加のための検討を行った。

一般社団法人日本地域看護学会 2023 年度委員会活動報告書

委 員 会	編集委員会
委 員 長	永田智子（慶應義塾大学）
副委員長	田口敦子（慶應義塾大学）
委 員	有本 梓（横浜市立大学大学院）、石丸美奈（千葉大学大学院）、和泉比佐子（神戸大学大学院）、尾崎章子（東北大学大学院）、蔭山正子（大阪大学高等共創研究院）、亀井智子（聖路加国際大学大学院）、田口理恵（共立女子大学）、都筑千景（大阪公立大学大学院）、西嶋真理子（愛媛大学大学院）、平野美千代（札幌医科大学）
活動方針 （目的）	1. 学会誌「日本地域看護学会誌」の投稿論文受付から掲載までの編集作業を行う。 2. 高い学術性と親しみやすさを兼ね備えた地域看護学の学術雑誌としての学会誌を目指す。
活動報告 （実施内容）	1. 委員会開催 1) 第 1 回委員会 日 時：2023 年 6 月 5 日（月）18:00～20:00 会 場：Zoom によるオンライン会議 出席者：永田、蔭山、和泉、井手、上野、尾崎、田口理恵、都筑、西嶋 議 事：理事会報告、継続中の論文の審査状況について、新規投稿論文の編集委員・査読委員について、第 26 巻第 2 号の掲載予定論文および依頼原稿等について、編集委員会企画連載について、優秀査読者賞について、学術集会演題の投稿推薦について、2023 年度拡大編集委員会の開催について 等 2) 第 2 回委員会 日 時：2023 年 10 月 6 日（金）18:00～20:30 会 場：Zoom によるオンライン会議 出席者：永田、田口敦子、石丸、和泉、尾崎、蔭山、亀井、田口理恵、都筑、西嶋、平野 議 事：拡大編集委員会報告、継続中の論文の審査状況について、新規投稿論文の編集委員・査読委員について、第 26 巻第 3 号の掲載予定論文および依頼原稿等について、巻頭言・編集後記の執筆者について、編集委員会企画連載について、優秀査読者賞の選出について、推薦演題について、投稿者の資格について、投稿料について、投稿論文の査読前チェックについて、原稿種別について、査読結果の通知について、英文投稿について 等 3) 第 3 回委員会 日 時：2024 年 2 月 9 日（金）16:00～20:00 会 場：Zoom によるオンライン会議 出席者：永田、田口敦子、有本、石丸、尾崎、蔭山、亀井、田口理恵、都筑、西嶋、平野 議 事：理事会報告、継続中の論文の審査状況について、新規投稿論文の編集委員・査読委員について、第 27 巻第 1 号の掲載予定論文および依頼原稿等について、巻頭言・編集後記の執筆者について、編集委員会企画連載について 等 2. 2023 年度拡大編集委員会の開催 日 時：2023 年 9 月 3 日（土）12:20～13:20 会 場：第 26 回学術集会第 2 会場 出席者：35 名（第 10 期編集委員 1 名、第 11 期編集委員 7 名、査読委員 27 名） 議 事：第 11 期編集委員会活動方針および 2023 年度活動計画について、投稿規程・投稿論文作成チェックリスト・論文投稿に関する不正行為防止のためのガイドラインについて、投稿から掲載までの流れについて、投稿論文の動向について、優秀査読者賞の表彰 優秀査読者：大澤真奈美氏、本田 光氏

	3. 日本地域看護学会誌の発行 1) 第 26 巻第 1 号 発行日：2023 年 4 月 20 日 掲載論文：原著 1、研究報告 7、資料 2、委員会報告、編集委員会企画連載 1、NEWS FROM JACHN No.22 2) 第 26 巻第 2 号 発行日：2023 年 8 月 20 日 掲載論文：原著 1、研究報告 1、編集委員会企画連載 3、委員会報告、学会だより 3) 第 26 巻第 3 号 発行日：2023 年 12 月 20 日 掲載論文：原著 2、研究報告 2、第 26 回学術集会報告、編集委員会企画連載 1 4. 投稿数と採択までの動向 2023 年度投稿数：35 編 帰結：採択 8 編（採択率 22.8%）、不採用・辞退・期限超過 23 編、審査継続中 4 編
次年度 活動計画	1. 編集委員会を開催する（年 3 回）。 2. 拡大編集委員会を開催する。 3. 学会誌を 3 号発行し（第 27 巻第 1～3 号）、J-STAGE で公開する。 4. オンライン投稿査読システムを運用し、評価する。 5. 「優秀査読者賞」の選考および授賞を行う。 6. 「研究論文投稿に関する不正行為防止のためのガイドライン」および関連する内容の周知を図る。 7. 論文投稿の促進に向けた対応を行う。 8. その他、本学会の目的に必要な事業の推進を図る。

委 員 会	研究活動推進委員会
委 員 長	大森純子（東北大学大学院）
副委員長	平野美千代（札幌医科大学）
委 員	和泉京子（武庫川女子大学）、牛尾裕子（山口大学大学院）、鈴木良美（東京医科大学）、松永篤志（東北大学大学院）、山下留理子（徳島大学大学院）
活動方針 （目的）	セミナーの実施等を通して、会員の研究方法に関する知識を高めるとともに、研究活動を促進し、地域看護学の発展に寄与する。
活動報告 （実施内容）	1. 委員会開催 1) 第 1 回委員会 日 時：2023 年 7 月 10 日（月）18:00～19:30 会 場：Zoom によるオンライン会議 出席者：大森純子、平野美千代、和泉京子、牛尾裕子、鈴木良美、松永篤志、山下留理子 議 事：①活動計画、予算について、②今年度の研究活動推進委員会の活動計画、③今年度の研究セミナーの検討、④その他：研究セミナー動画アーカイブについて等 2) 第 2 回委員会 日 時：2023 年 10 月 3 日（火）18:00～19:30 会 場：Zoom によるオンライン会議 出席者：大森純子、平野美千代、和泉京子、牛尾裕子、鈴木良美、松永篤志、山下留理子、（株式会社ユピア）国井由生子、小嶋亜紀子、福井千絵 議 事：①R5 年度研究セミナー準備状況の共有／テーマ・講師の決定、②役割分担について、③今後のスケジュール、④研究セミナーに関するその他の検討事項、⑤その他

	3) 第3回委員会 日 時：2024年2月13日（火）18:30～20:00 会 場：Zoom によるオンライン会議 出席者：大森純子、平野美千代、和泉京子、牛尾裕子、鈴木良美、松永篤志、山下留理子、 （研究セミナー講師）安田裕子、小路浩子、（株式会社ユピア）国井由生子、 小嶋亜紀子、福井千絵 議 事：①自己紹介、②R5 年度研究セミナーの進行について、③その他 2. 研究セミナーの実施 日 時：ライブ配信 2024年3月9日（土）13:30～15:30 オンデマンド配信 2024年3月24日（日）まで テーマ：文化心理学から生まれた現象や経験のプロセスをとらえる質的研究手法 複線経路等至性アプローチ（TEA）とモデリング（TEM）の理論と実際を学ぶ 講 師：安田裕子（立命館大学大学院人間科学研究科 教授） 「理論編 TEA と TEM の理論的基盤」 小路浩子（神戸女子大学看護学部 准教授） 「実践編 地域看護研究の実例紹介」 申込受付期間：2024年1月15日（月）～2月19日（月） 参加者：168名（会員146名、非会員8名、学生14名） 3. その他、会員の研究活動を推進するための活動 1) 研究セミナー動画アーカイブ設置についてメリットとデメリットを検討した。 2) 2022年度研究セミナー（2023年3月実施）の内容を学会誌に寄稿した。
次年度 活動計画	1. 研究セミナーを企画する委員会を開催する。 2. 2024年度研究セミナーを実施する（2025年3月実施予定）。 3. 2023年度研究セミナー（2024年3月実施）の内容を学会誌に寄稿する。 4. HP リニューアルに合わせて研究セミナー動画アーカイブスを設ける（予定）。 5. その他、会員の研究活動を推進するための活動を行う。

委 員 会	広報委員会
委 員 長	田村須賀子（富山大学）
副委員長	安田貴恵子（長野県看護大学）
委 員 員	酒井久美子（長野県看護大学）、鈴木悟子（富山大学）、新村順子（東京都医学総合研究所）、 長谷川美香（福井大学）、平澤則子（長岡崇徳大学）
活動方針 （目的）	1. ホームページの確認と充実を図り、会員へのタイムリーかつ有用な情報提供を行う。 2. 広報活動や会員サービスの拡充を進め、新規会員獲得を目指す。 3. 他の委員会活動と連携を図る。
活動報告 （実施内容）	1. 委員会開催 1) 第1回委員会 日 時：2023年10月13日（月）18:00～19:30 会 場：Teams によるオンライン会議 議 事：①2022年度活動報告と2023年度活動計画について、②今年度の関連団体・機関への広報活動について、③学会 HP の改修について 2) 第2回委員会 日 時：2024年3月20～31日 会 場：メール会議 議 事：東北地方等地域包括支援センター看護・介護職を対象としたアンケート結果の集約と第27回学術集会に向けた広報活動の評価、今後に向けた企画検討

	2. ホームページの内容の確認と充実 掲載内容の確認を定期的（月 1 回）に行った。 3. 東北地方等地域包括支援センター看護・介護職に対する調査・広報活動 第 27 回学術集会に向けて：東北地方等地域包括支援センター751 か所（2023 年 10 月 2 日現在）の看護・介護職を対象に、学術集会の案内チラシとともに QR コード付き質問紙を郵送し、「学術集会演題受付領域リスト」を載せた。調査期間は 2024 年 2 月 10 日～3 月 20 日、回収数 30（回収率 4.3%）、有効回答数 30。東北地方等地域包括支援センター看護・介護職による自由記載から、在宅医療を担う看護師の役割の重要性、地域づくり、ソーシャルキャピタル等について関心があった。学術集会に参加するときの動機には、「地域包括ケア推進・調整の最新情報を得るため」「地域包括ケアの方法・評価のヒントや刺激を得るため」「職場から参加を勧められること」の回答が多かった。学術集会参加では、地域共生社会実現のため、多職種の学会と同時開催などの希望も記載されていた。
次年度 活動計画	1. ホームページの内容の確認と充実 定期的に広報委員が交代で HP を確認し、早急な更新と内容の検討を行う。 必要事項は委員会で検討し理事会に諮り進める。 2. 広報を通じた会員サービスの拡充と会員獲得戦略 委員会で課題整理と対応策を検討し理事会に提案する。 3. 地域で実践する看護職に対する広報活動 全国保健所地域保健担当課 470 か所、全国市・特別区社会福祉担当課（792+23） （参考）2023 年：東北地方等地域包括支援センター、2022 年：全国市町特別区母子保健担当課、2021 年：地域包括支援センター、2020 年：公的病院地域連携室、2019 年：看護学校 4. その他、必要な事項

委 員 会	教育委員会
委 員 長	佐藤紀子（千葉県立保健医療大学）
副委員長	岡本玲子（大阪大学大学院）
委 員	石橋みゆき（千葉大学大学院）、大宮朋子（筑波大学）、草野恵美子（大阪医科大学）、斉藤恵美子（東京都立大学大学院）、嶋津多恵子（国際医療福祉大学大学院）、諏訪部高江（訪問看護ステーションほのか）、藤原和美（関西国際大学）、持田恵理（大泉町保健福祉総合センター）
活動方針 （目的）	地域看護学の教育内容と方法を検討し、教育・実践現場への普及・充実をはかる。
活動報告 （実施内容）	1. 委員会開催 1) 第 1 回委員会 日 時：2023 年 6 月 2 日（金）18:30～20:30 会 場：Zoom によるオンライン会議 参加者：大宮朋子、岸恵美子、草野恵美子、斉藤恵美子、佐藤紀子、諏訪部高江、藤原和美（敬称略） 議 事：①ポンチ絵および動画についての検討、②地域看護学の概念整理、③他学会との連携について 2) 第 2 回委員会 日 時：2023 年 8 月 3 日（木）18:00～19:30 会 場：Zoom によるオンライン会議 参加者：石橋みゆき、大宮朋子、岡本玲子、草野恵美子、斉藤恵美子、佐藤紀子、嶋津多恵子、諏訪部高江、藤原和美、持田恵理（敬称略） 議 事：①今年度の委員会活動計画、②第 27 回学術集会における教育委員会 WS の企画

	実施について、③役割分担、④今後のスケジュール 3) 第 3 回委員会 日 時：2023 年 10 月 19 日（木）18:00～19:30 会 場：Zoom によるオンライン会議 参加者：大宮朋子、岡本玲子、草野恵美子、斉藤恵美子、佐藤紀子、嶋津多恵子、諏訪部高江、藤原和美、持田恵理（敬称略） 議 事：①地域看護関連学会合同委員会からの検討依頼事項、②地域看護学の定義について、③学士課程における看護師養成のために必要な地域看護の教育内容 4) 第 4 回委員会 日 時：2024 年 1 月 29 日（月）18:30～20:30 会 場：Zoom によるオンライン会議 参加者：石橋みゆき、大宮朋子、岡本玲子、草野恵美子、斉藤恵美子、佐藤紀子、嶋津多恵子、諏訪部高江、藤原和美、持田恵理（敬称略） 議 事：①次年度の委員会活動計画、②地域看護学・公衆衛生看護学・在宅看護学の関連図と概念の明確化、③学士課程における看護師養成のために必要な地域看護関連の教育内容 5) 第 5 回委員会 日 時：2024 年 3 月 11 日（月）18:00～19:30 会 場：Zoom によるオンライン会議 参加者：岡本玲子、草野恵美子、斉藤恵美子、佐藤紀子、嶋津多恵子、藤原和美、持田恵理（敬称略） 議 事：①地域看護学・公衆衛生看護学・在宅看護学の関連図と概念の明確化（継続審議）、②学士課程における看護師養成のために必要な地域看護関連の教育内容（継続審議） 2. 地域看護関連学会合同委員会への参画 教育委員長と副委員長の 2 名が合同委員会に参画し、本委員会と連動させながら 3 学問の言語化と関係性、学士課程における看護師養成のために必要な地域看護の教育内容、モデルコアカリ案に対する提案について検討を行った。
次年度活動計画	1. 地域看護関連学会合同委員会の検討結果を踏まえ、地域看護学を教授するツールとして活用できるように、地域看護学の位置づけや内容が初学者でもわかるよう図表等を作成し見える化する。 2. 上記と連動させ、学士課程における看護師養成のために必要な「地域看護の教育内容と方法」について、新たなモデルコアカリキュラムとも照合し、精錬させる。 3. 学術集会の理事会セミナーにおける地域看護関連学会合同委員会の経過と成果を公表する企画に、教育委員会として参画し、広く周知することに貢献する。

委 員 会	国際交流推進委員会
委 員 長	小西かおる（大阪大学大学院）
副委員長	大川聡子（関西医科大学）
委 員	成瀬 昂（SOMPO インスティテュートプラス株式会社）、藤本優子（大分県立看護科学大学）、山本なつ紀（慶應義塾大学）
活動方針（目的）	1. 会員の国際的な研究交流や学術交流の推進を目指す。 2. ニュースレターの発行、地域看護に関連する国際学会・国際ネットワークと連携し、有用な情報発信を進める。
活動報告（実施内容）	1. 委員会開催 1) 第 1 回委員会 日 時：2023 年 10 月 20 日（金）13:00～13:45

	会 場：Zoom によるオンライン会議 参加者：小西委員長、大川委員、藤本委員、成瀬委員、山本委員 議 事：英文ニュースレター企画ほか 2. 英文ニュースレターの発行 1) NEWS FROM JACHN No.23（学会誌第 27 巻第 1 号掲載）の発行に向けて、掲載内容および執筆者を確定し、原稿の執筆依頼を行った。 2) 特集テーマおよび掲載内容を以下のとおり決定した。 (1) 特集テーマ：地域看護学の実践・研究における PHR（personal health record）の利活用の現状と展望 ①日本の公衆衛生における PHR のトレンド； 岡島正泰（SONPO インスティテュート・プラス株式会社／主任研究員） ②母子保健領域における保健師活動の PDCA サイクルを推進する保健師記録と PHR の活用に向けた研究； 赤塚永貴（慶應義塾大学／助教）、大澤まどか（慶應義塾大学／特任助教）、 田口敦子（慶應義塾大学／教授） ③PHR の活用と普及に応じた地域看護学研究の展望； 板谷智也（宮崎大学／教授） (2) 論文賞の紹介、国際学会参加報告（APHA、EAFONS）、今後の関連国際学会の情報などを掲載した。 3. 国際的な研究交流や学術交流に有用な情報の提供 1) WANS 理事会（2023 年 11 月 21 日 11:00～12:00）に参加した。 2) WANS 次期理事長の選挙に際し、日本地域看護学会の過半数の理事から推薦された現理事長である Associate Professor Dr. Tassana Boontong（President of Thailand Nursing and Midwifery Council and Dean of Faculty of Nursing、HRH Chulabhorn College of Medical Sciences）に票を投じた。20 団体中 14 票を得て、Dr. Tassana Boontong が次期も WANS 理事長を継続することに決定した。
次年度 活動計画	1. NEWS FROM JACHN No.24 を発行する。 2. 必要に応じて、国際的な研究交流や学術交流に有用な情報を提供する。 3. 委員会を年 1 回、開催する。

委 員 会	表彰論文選考委員会
委 員 長	鳩野洋子（九州大学大学院）
副委員長	永田智子（慶應義塾大学）
委 員	合田加代子（大阪歯科大学）、田高悦子（北海道大学大学院）、永井眞由美（安田女子大学）
活動方針 （目的）	1. 日本地域看護学会誌に掲載された優れた論文について、規程に沿って、「優秀論文賞」および「奨励論文賞」（以下、表彰論文）を選考する。 2. 日本地域看護学会に多大な寄与をした者の中から、規程に沿って、日本地域看護学会名誉会員（以下、名誉会員）候補者を選考する。 3. 日本地域看護学会「表彰論文」ならびに「名誉会員」にかかわる、その他必要な事業等を推進する。
活動報告 （実施内容）	1. 委員会開催 1) 第 1 回委員会 日 時：2024 年 3 月 29 日（Zoom によるオンライン会議） 2. 2023 年度表彰論文について 1) 選定方法の見直しを行った。委員内で絞込を行い、その上で理事・代議員による投票により決定した。 2) 対象論文は規程に基づき、学会誌第 25 巻第 1～3 号に掲載された論文を対象とした。

	3) 理事・代議員による投票結果を踏まえ、独創性、新規性、学術的発展性、実践的有用性の観点から審議の上、表彰論文の選考を行った。 3. 名誉会員候補者について 1) 規程に基づき、名誉会員候補者について検討を行った。 4. その他、本事業の充実に向けて 1) 学会 HP 上に表彰論文選考理由および受賞者の声を掲載した。 2) 学術集会において受賞論文の掲示を行った。
次年度活動計画	1. 2023 年度の理事・代議員の優秀論文の投票率により、選定方法を再考する。 2. 学会誌第 25 巻に掲載された優れた論文について、規程に沿って、表彰論文を選考する。 3. 日本地域看護学会に多大な寄与をした者の中から、規程に沿って、名誉会員候補者を検討する。 4. 日本地域看護学会「表彰論文」ならびに「名誉会員」にかかわる必要な事業等を推進する。

委員会	災害支援のあり方検討委員会 / 健康危機支援委員会
委員長	石田千絵（日本赤十字看護大学）
副委員長	奥田博子（国立保健医療科学院）
委員	川口奏子（在宅看護研究センターLLP／日本在宅看護システム有限会社）、川野和也（立川市北部東わかば地域包括支援センター）、佐々木亮平（岩手医科大学）、堀池 諒（大阪医科大学）、吉川悦子（日本赤十字看護大学）
活動方針 (目的)	1. 活動目的 1) 災害等の視点から地域看護の実践・教育・研究に関して検討し、地域看護職の活動地域の人々の健康で安全な地域社会の構築に寄与する。 2. 活動概要 1) 地域の人々の健康と安全に脅威をもたらす自然災害やパンデミック等の健康危機に関わる情報や活動情報を収集し、それに基づいて地域看護の実践・教育・研究のあり方を考える機会を学術集会の場等でつくっていく。 2) 日本看護系学会協議会等、看護の学会連携ネットワーク等を通して、他学会と連携していく。
活動報告 (実施内容)	1. 委員会開催 1) 第 1 回委員会 日 時：2023 年 10 月 20 日（金）13:00～13:45 会 場：Zoom によるオンライン会議 参加者：全委員 議 事：年間活動計画、本委員会の目的と活動方針の確認、委員会メンバーの紹介と役割分担、今年度の計画 2) 第 2 回委員会 日 時：2023 年 12 月 5 日 17:00～18:00 会 場：Zoom によるオンライン会議 参加者：全委員 議 事：令和 6 年度第 27 回学術集会交流集会の内容の検討、委員会名の検討 3) 第 3 回委員会 日 時：2024 年 2 月 27 日 17:00～18:00 会 場：Zoom によるオンライン会議 参加者：全委員 議 事：学会交流集会の内容確認、委員会名の検討、次年度の活動計画案の検討 等

	2. その他 1) 令和 6 年能登半島地震を契機に、災害関連の情報を HP 上に掲載した。 2) 能登半島地震における具体的な支援等、理事長の判断材料となる情報収集を行った。
次年度 活動計画	1. 2024 年度より「健康危機支援委員会」に改称 2. 委員会の開催（年 4 回）、うち 1 回は学会の開催期間中 3. 健康危機に関わる情報や地域看護に従事する看護職の活動についての情報収集 4. その他、健康危機に関わる情報の発信（HP）

委 員 会	実践促進委員会
委 員 長	田口敦子（慶應義塾大学）
副委員長	秋山正子（株式会社ケアーズ白十字訪問看護ステーション）
委 員	石川志麻（慶應義塾大学）、浦山美輪（東北大学病院）、尾形由起子（福岡県立大学）、 曾我智子（泉大津市地域包括支援センター）、中村順子（ホームホスピス秋田訪問看護ステーション）、三輪恭子（大阪公立大学大学院）
活動方針 （目的）	1. 地域看護学の実践者と研究者の情報交換や連携を促進する。 2. 優れた地域看護の実践を発掘、検証し、実践知として蓄積する。
活動報告 （実施内容）	1. 委員会開催 1) 第 1 回委員会 日 時：2023 年 8 月 9 日（水）16:00～17:00 会 場：Zoom によるオンライン会議 参加者：田口、浦山、尾形、曾我、中村、三輪、石川 議 事：当委員会の目的・活動方針の検討、2023～2024 年度活動計画の検討 2) 第 2 回委員会 日 時：2023 年 9 月 26 日（水）17:15～18:00 会 場：Zoom によるオンライン会議 参加者：田口、尾形、中村、三輪、石川 議 事： (1) 当委員会の目的・活動計画の確認 (2) 今後 2 か年の活動実施計画として、実践者が、自らの活動の優れた点に気づきを得られるような活動や、実践者と研究者が共同できる橋渡しとなる活動を担うことを確認した。具体的には、実践者と研究者の共同研究の事例を集め、学会員がヒントを得られるように当委員会から発信する予定である。 (3) 第 27 回学術集会におけるワークショップ開催 上記目的に鑑みたワークショップを開催するにあたり、内容の検討を行った。 3) 第 3 回委員会 日 時：2023 年 12 月 12 日（火）16:00～17:10 会 場：Zoom によるオンライン会議 参加者：田口、秋山、浦山、尾形、曾我、三輪、石川 議 事： (1) 第 27 回学術集会におけるワークショップ開催内容の検討 話題提供として紹介する実践者と研究者の共同した取り組み事例およびディスカッションポイントの検討を行った。 (2) 情報発信 実践者と研究者の共同研究の好発事例の情報収集を行い、情報発信を行うことを確認した。 4) 第 4 回委員会 日 時：2024 年 2 月 29 日（木）9:30～10:30

	会 場：Zoom によるオンライン会議 参加者：田口、秋山、浦山、曾我、中村、三輪、石川 議 事：第 27 回学術集会におけるワークショップ開催内容の検討
次年度 活動計画	1. 第 27 回学術集会（2024 年 6 月開催）にてワークショップを開催する。 2. 実践促進委員会を開催する（年 3 回予定）。 3. 実践者と研究者の共同研究の好発事例の情報収集を行う。 4. 上記 1. 3. で得られた好発事例の情報を学会誌や学会ホームページなどで情報発信する。

委 員 会	次世代育成推進委員会
委 員 長	蔭山正子（大阪大学高等共創研究院）
副委員長	石丸美奈（千葉大学大学院）
委 員	阿部宏史（藍野大学）、板谷智也（金沢大学）、岡野明美（大阪公立大学）、川崎涼子（長崎大学）、佐藤太一（千葉大学大学院）、寺本健太（晴海おとしより相談センター）、成瀬 昂（SOMPO インスティテュートプラス株式会社）、堀池 諒（大阪医科薬科大学）、松井理恵（群馬大学大学院）
活動方針 （目的）	これからの地域看護の研究や実践を担う次世代の研究者や実践者の育成を推進するとともに、本学会が重点的に取り組むべき研究課題を推進すべく、次世代の研究者や実践者とともに戦略を実施する。
活動報告 （実施内容）	1. 委員会開催 2023/8/24、2023/11/7、2024/2/1、その他 Slack にて開催 2. 学術集会ワークショップ 2023/9/3 実施、参加者 20 名程度 3. LINE オープンチャット「地域看護の次世代を考えるグループ」 1) 「地域看護の次世代を考えるグループ」開設、運営 参加者 55 名（2024 年 3 月末時点） 2) 勉強会の開催「第 1 回メタバースの基礎的知識」 2024/3/21 実施、当日参加 23 名、申し込み 43 名、視聴回数 35 回 4. ライブ企画 1) 第 1 回「地域看護の研究って面白いよ」 2023/11/22 視聴者数 261 回（2024/4/26 現在） 学生に向け、卒論や修論の行先として、地域看護の面白さを伝える 2) 第 2 回「『研究しようよ』とはいうものの」 2023/12/22 視聴者数 156 回（2024/4/26 現在） 研究に取り組む（取り組もうとする）実践者の背中をおす 3) 第 3 回「頑張りすぎず、ゆるやかな協働もあっていい」 2024/2/14 視聴者数 73 回（2024/4/26 現在） 実践者と研究者の協働のハードルを下げつつモチベーションを上げる 5. ショート動画作成 6 本を作成、日本地域看護学会 YouTube チャンネルで公開 ①学会の口演発表用スライドデータの登録の方法について、一例として、実演を交えてご紹介します ②学会ポスター発表での質問の仕方 ③GIS（地理情報システム）で 65 歳以上人口を可視化してみた ④1 分 40 秒でわかる Web GIS の活用方法（能登半島地震での保健師活動支援マップ版） ⑤業務に役立つ！ エクセルショートカットキー ⑥業務に役立つ！ よく使うショートカットキー

次年度 活動計画	1. 会議の開催 2. 学術集会ワークショップの開催 3. LINE オープンチャット「地域看護の次世代を考えるグループ」の運営、勉強会等の開催 4. ライブ企画の実施 5. ショート動画の作成
-------------	---

委 員 会	地域看護関連学会合同委員会
委 員 長	(日本地域看護学会) 河野あゆみ
委 員	(日本地域看護学会) 佐藤紀子、岡本玲子 (日本公衆衛生看護学会) 岩本里織、岸恵美子 (日本在宅看護学会) 清水準一、小野若菜子
オブザーバー	(日本地域看護学会理事長) 麻原きよみ
活動方針 (目的)	関連学会との連携による地域看護学領域の概念、看護基礎教育に必要な地域看護関連教育内容を検討する。
活動報告 (実施内容)	1. 2023 年度は日本地域看護学会が幹事学会となり、運営した。 2. 地域看護学、公衆衛生看護学、在宅看護学の位置づけ等を確認した。 3. 各学会が考える「学士課程における看護師養成に必要な地域看護関連教育内容」について、検討した。 4. JANPU モデルコアカリキュラム連絡調整委員会からの依頼をうけて、「地域社会における健康支援」(仮)に関する教育要素案について、関連学会として、意見を提出した。 5. 委員会開催 (オンライン会議) 1) 第 1 回委員会 日 程：2023 年 9 月 11 日 (月) 議 事：地域看護関連学会合同委員会開催の経緯 地域看護学会教育委員会におけるこれまでの取り組みの紹介 2) 第 2 回委員会 日 程：2023 年 12 月 4 日 (月) 議 事：日本地域看護学会理事会セミナー 各学会からの学問の定義と看護師養成に必要な共通の教育内容 看護基礎教育における各分野の位置づけ 3) 第 3 回委員会 日 程：2023 年 12 月 11 日 (月) 議 事：JANPU からの依頼事項 (大分類の定義、構造、資質・能力など) 4) 第 4 回委員会 日 程：2024 年 1 月 11 日 (木) 議 事：地域で展開する看護と看護基礎教育の範囲 地域看護関連教育内容作成に向けての意見交換 5) 第 5 回委員会 日 程：2024 年 3 月 27 日 (水) 議 事：地域で展開する看護：看護基礎教育の範囲 (仮) 地域看護関連教育内容作成に向けての意見交換 日本地域看護学会理事会セミナーの構成と抄録
次年度 活動計画	1. 第 27 回日本地域看護学会学術集会理事会セミナーにおいて、検討状況を報告する。 2. 関連学会と連携し、地域看護学領域の概念および「地域看護関連教育内容」について、引き続き検討する。

一般社団法人日本地域看護学会 2023年度収支計算書

自 2023年 4月 1日
至 2024年 3月 31日

I. 一般会計

1. 収 入 (単位:円)

項 目	2023年度 予 算	2023年度 決 算	差 異 (収入減 △)	執行率	備 考
1 年会費	13,900,000	13,850,000	△ 50,000		10,000円×1,385件 2023年度:1,337／1,414人(入金率 94.4%)、過年度:48件
2 入会金	500,000	655,000	155,000		5,000円×131件
3 寄付金	0	0	0		
4 第26回学術集会	13,070,000	11,483,627	△ 1,586,373		助成金1,400,000円を含む
5 委員会セミナー参加費	500,000	338,000	△ 162,000		
6 投稿料	200,000	180,000	△ 20,000		5,000円×36件
7 将来事業準備資金取崩	0	702,575	702,575		
8 雑収入	10,100	11,415	1,315		
(1) 利息	100	195	95		
(2) 著作権使用料	10,000	11,220	1,220		
(3) その他	0	0	0		
(A) 当期収入合計	28,180,100	27,220,617	△ 959,483		
前期繰越金	29,201,517	29,201,517	0		
(B) 合 計	57,381,617	56,422,134	△ 959,483		

2. 支 出 (単位:円)

項 目	2023年度 予 算	2023年度 決 算	差 異 (支出増 △)	執行率	備 考
事業費支出					
1 第26回学術集会	14,070,000	12,248,372	1,821,628	87.1%	
2 理事会セミナー	50,000	55,685	△ 5,685	111.4%	セミナー講師謝金
3 会員報告会	50,000	0	50,000	0.0%	
4 研究論文表彰費	150,000	130,460	19,540	87.0%	論文賞副賞110,000円を含む
5 学会誌	4,050,000	3,011,250	1,038,750	74.4%	第26巻第1号、第2号、第3号
(1) 製作費	3,900,000	2,940,850	959,150	75.4%	
(2) J-STAGE掲載作業費	150,000	70,400	79,600	46.9%	
6 委員会活動費	2,800,000	1,793,343	1,006,657	64.0%	
(1) 編集委員会	1,000,000	547,353	452,647	54.7%	拡大編集委員会開催費等
(2) 研究活動推進委員会	500,000	531,619	△ 31,619	106.3%	セミナー開催費
(3) 広報委員会	300,000	107,801	192,199	35.9%	アンケート調査実施費用
(4) 教育委員会	300,000	99,000	201,000	33.0%	地域看護学の図式化費用
(5) 国際交流推進委員会	200,000	176,000	24,000	88.0%	NL No.22作成費
(6) 表彰論文選考委員会	100,000	55,000	45,000	55.0%	表彰論文選考費用
(7) 災害支援のあり方検討委員会	200,000	228,438	△ 28,438	114.2%	被災地調査費用等
(8) 実践促進委員会	100,000	0	100,000	0.0%	
(9) 次世代育成推進委員会	100,000	48,132	51,868	48.1%	勉強会講師謝金等
7 選挙運営費	0	0	0	-	
(1) 選挙管理等受付管理費	0	0	0	-	
(2) 代議員選挙運営費	0	0	0	-	
(3) 役員選挙運営費	0	0	0	-	
(4) 選挙管理委員会会議費	0	0	0	-	
8 諸会費	100,000	100,000	0	100.0%	
(1) 日本看護系学会協議会	80,000	80,000	0	100.0%	2023年度会費
(2) 全国公衆衛生関連学協会連絡協議会	20,000	20,000	0	100.0%	2023年度会費
9 雑費	50,000	0	50,000	0.0%	
事業費小計	21,320,000	17,339,110	3,980,890	81.3%	

項 目	2023年度 予 算	2023年度 決 算	差 異 (支出増 △)	執行率	備 考
管理費支出					
1 会議費	250,000	179,412	70,588	71.8%	
(1) 理事会	200,000	99,772	100,228	49.9%	
(2) 社員総会	50,000	79,640	△ 29,640	159.3%	
2 交通・宿泊費	1,100,000	407,226	692,774	37.0%	
3 印刷費	400,000	348,550	51,450	87.1%	
4 発送費	400,000	584,964	△ 184,964	146.2%	
5 ホームページ管理費	400,000	1,287,000	△ 887,000	321.8%	メールマガジンの配信・HPサーバー変更・SSL化対応費用を含む
6 業務委託費	3,500,000	3,273,050	226,950	93.5%	
7 租税公課	70,000	70,000	0	100.0%	法人税
8 雑費	120,000	103,950	16,050	86.6%	
(1) 振込手数料	40,000	48,950	△ 8,950	122.4%	振込手数料・振替通知書発行手数料
(2) その他	80,000	55,000	25,000	68.8%	登記変更費用
管理費小計	6,240,000	6,254,152	△ 14,152	100.2%	
資産積立支出					
1 将来事業準備資金積立金	0	0	0	0%	
資産積立支出小計	0	0	0	0%	
(C) 当期支出合計	27,560,000	23,593,262	3,966,738	85.6%	
(A・C) 当期収支差額	620,100	3,627,355	△ 3,007,255	-	
(B・C) 次期繰越金	29,821,617	32,828,872	△ 3,007,255	-	

Ⅱ. 積立金

将来事業準備資金

(単位:円)

収 入		支 出		備 考
前期繰越金	702,569	取崩	702,575	一般会計へ
繰入	0	次期繰越金	0	
受取利息	6			
収入合計	702,575	支出合計	702,575	

財 産 目 録

令和 6 年 3 月 31 日現在 (決算)

法人名：一般社団法人日本地域看護学会
事業名：事業全体

(単位： 円)

貸 借 対 照 表 科 目	場 所 ・ 物 量 等	使 用 目 的 等	金 額
(流動資産)			
普通預金 (事務センター)	三菱UF J 銀行	一般会計 / 学会運転資金	31,432,809
郵便振替 (年会費等)	ゆうちょ銀行	一般会計 / 翌事業年度計上年会費等	2,999,230
普通預金 (第26回学術集会運転資金)	三菱UF J 銀行	一般会計 / 第26回学術集会運転資金	331,053
普通預金 (第27回学術集会運転資金)	ゆうちょ銀行	一般会計 / 第27回学術集会運転資金	1,382,007
前払金	三菱UF J 銀行	一般会計 / 2024年度計上会議費	65,780
前払金 (第27回学術集会運転資金)	ゆうちょ銀行	一般会計 / 第27回学術集会運転資金	18,000
流動資産合計			36,228,879
資産合計			36,228,879
(流動負債)			
前受金 (年会費等)	ゆうちょ銀行	一般会計 / 翌事業年度計上年会費等	3,000,000
前受金 (第27回学術集会運転資金)	ゆうちょ銀行	一般会計 / 第27回学術集会運転資金	400,007
流動負債合計			3,400,007
負債合計			3,400,007
正味財産			32,828,872

貸 借 対 照 表

令和 6 年 3 月 31 日現在（決算）

法人名：一般社団法人日本地域看護学会

事業名：事業全体

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
流動資産			
現金預金	36,145,099	34,489,062	1,656,037
普通預金（事務センター）	31,432,809	28,282,037	3,150,772
郵便振替（年会費等）	2,999,230	3,114,450	△115,220
普通預金（第26回学術集会運転資金）	331,053	2,390,006	△2,058,953
普通預金（第27回学術集会運転資金）	1,382,007	0	1,382,007
普通預金（将来事業準備資金）	0	702,569	△702,569
前払金	65,780	51,480	14,300
前払金（第26回学術集会運転資金）	0	10,000	△10,000
前払金（第27回学術集会運転資金）	18,000	0	18,000
流動資産合計	36,228,879	34,550,542	1,678,337
資産合計	36,228,879	34,550,542	1,678,337
II 負債の部			
流動負債			
未払金	0	132,000	△132,000
前受金（年会費等）	3,000,000	3,114,450	△114,450
前受金（第26回学術集会運転資金）	0	1,400,006	△1,400,006
前受金（第27回学術集会運転資金）	400,007	0	400,007
流動負債合計	3,400,007	4,646,456	△1,246,449
負債合計	3,400,007	4,646,456	△1,246,449
III 正味財産の部			
一般正味財産	32,828,872	29,904,086	2,924,786
正味財産合計	32,828,872	29,904,086	2,924,786
負債及び正味財産合計	36,228,879	34,550,542	1,678,337

監査報告書

2024 年 5 月 8 日

一般社団法人日本地域看護学会

理事長 麻原 きよみ 殿

一般社団法人日本地域看護学会

監事

荒井田 美香子 

私監事は、一般社団法人日本地域看護学会の 2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日までの 2023 年度における業務及び会計の監査を行い、次のとおり報告します。

1. 監査の方法の概要

- (1) 業務監査については、理事会その他の重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行について報告を受け、関係書類の閲覧など必要と認められる監査手続きを実施することによって業務執行の妥当性を検討した。
- (2) 会計監査については、会計帳票及び関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて、財務諸表及び収支計算書の正確性を検討した。
- (3) 監査は Web 会議により実施した。監事 1 人ずつが署名・捺印した監査報告書を 2 枚作成した。

2. 監査結果

(1) 業務等の監査結果

- ①事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ②理事の職務の執行に関する不正の行為または法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、一般社団法人日本地域看護学会の財産及び損益の状況を全て重要な点において適正に示しているものと認めます。

監査報告書

2024 年 5 月 8 日

一般社団法人日本地域看護学会

理事長 麻原 きよみ 殿

一般社団法人日本地域看護学会

監事

宮崎 美砂子



私監事は、一般社団法人日本地域看護学会の 2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日までの 2023 年度における業務及び会計の監査を行い、次のとおり報告します。

1. 監査の方法の概要

- (1) 業務監査については、理事会その他の重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行について報告を受け、関係書類の閲覧など必要と認められる監査手続きを実施することによって業務執行の妥当性を検討した。
- (2) 会計監査については、会計帳票及び関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて、財務諸表及び収支計算書の正確性を検討した。
- (3) 監査は Web 会議により実施した。監事 1 人ずつが署名・捺印した監査報告書を 2 枚作成した。

2. 監査結果

(1) 業務等の監査結果

- ①事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ②理事の職務の執行に関する不正の行為または法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、一般社団法人日本地域看護学会の財産及び損益の状況を全て重要な点において適正に示しているものと認めます。

一般社団法人日本地域看護学会 2024年度事業計画書

1. 理事会を4回以上および監査会議を1回以上開催する。
2. 社員総会を1回開催する。
3. 会員報告会を1回開催する。
4. 第27回学術集会を開催する。
5. 第27回学術集会時に理事会セミナーを実施する。
6. 日本地域看護学会誌第27巻第1号、第2号、第3号を電子体で発行する。
7. 地域看護学に関する研究活動を推進する。
8. 地域看護学に関する広報活動を強化する。
9. 地域看護学に関する教育を推進する。
10. 地域看護学に関する国際的な交流を行い、英文ニュースレターを年1回発行する。
11. 日本地域看護学会表彰制度を運営する。
12. 災害等の視点から地域看護の実践・教育・研究に関して検討する。
13. 地域看護学における実践活動を促進する。
14. 地域看護学における次世代育成を推進する。
15. 看護系学会・公衆衛生関連学協会との連携を進め、活動に参画する。
16. 関連学会との連携による地域看護学領域の概念および教育等に関する検討を行う。
17. 役員選挙を行う。
18. その他必要な事業を行う。

一般社団法人日本地域看護学会 2025年度事業計画書

1. 理事会を4回以上および監査会議を1回以上開催する。
2. 社員総会を1回開催する。
3. 会員報告会を1回開催する。
4. 第28回学術集会を開催する。
5. 第28回学術集会時に理事会セミナーを実施する。
6. 日本地域看護学会誌第28巻第1号、第2号、第3号を電子体で発行する。
7. 地域看護学に関する研究活動を推進する。
8. 地域看護学に関する広報活動を強化する。
9. 地域看護学に関する教育を推進する。
10. 地域看護学に関する国際的な交流を行い、英文ニュースレターを年1回発行する。
11. 日本地域看護学会表彰制度を運営する。
12. 災害等の視点から地域看護の実践・教育・研究に関して検討する。
13. 地域看護学における実践活動を促進する。
14. 地域看護学における次世代育成を推進する。
15. 看護系学会・公衆衛生関連学協会との連携を進め、活動に参画する。
16. 関連学会との連携による地域看護学領域の概念および教育等に関する検討を行う。
17. その他必要な事業を行う。

一般社団法人日本地域看護学会 2024年度収支予算書

自 2024年 4月 01日
至 2025年 3月 31日

I. 一般会計
1. 収 入

(単位:円)

項 目	2024年度 予 算	2023年度 予 算	2023年度 決 算	備 考
1 年会費	13,680,000	13,900,000	13,850,000	10,000円×1,368件
2 入会金	650,000	500,000	655,000	5,000円×130人
3 寄付金	0	0	0	
4 第27回学術集会	11,158,000	13,070,000	11,483,627	
5 委員会セミナー参加費	415,000	500,000	338,000	研究活動推進委員会セミナー参加費
6 投稿料	200,000	200,000	180,000	5,000円×40件
7 雑収入	10,200	10,100	713,990	
(1) 利息	200	100	195	
(2) 著作権使用料	10,000	10,000	11,220	
(3) その他	0	0	702,575	
(A) 当期収入合計	26,113,200	28,180,100	27,220,617	
前期繰越金	32,828,872	29,201,517	29,201,517	
(B) 合 計	58,942,072	57,381,617	56,422,134	

2. 支 出

(単位:円)

項 目	2024年度 予 算	2023年度 予 算	2023年度 決 算	備 考
事業費支出				
1 第27回学術集会	12,158,000	14,070,000	12,248,372	
2 理事会セミナー	50,000	50,000	55,685	
3 会員報告会	50,000	50,000	0	
4 研究論文表彰費	150,000	150,000	130,460	論文賞副賞:110,000円、その他:40,000円
5 学会誌	3,650,000	4,050,000	3,011,250	第27巻第1号、第2号、第3号
(1) 製作費	3,500,000	3,900,000	2,940,850	
(2) J-STAGE掲載作業費	150,000	150,000	70,400	
6 委員会活動費	2,501,000	2,800,000	1,793,343	
(1) 編集委員会	750,000	1,000,000	547,353	拡大編集委員会開催費(1回)を含む
(2) 研究活動推進委員会	500,000	500,000	531,619	セミナー開催費(1回)を含む
(3) 広報委員会	263,000	300,000	107,801	
(4) 教育委員会	208,000	300,000	99,000	
(5) 国際交流推進委員会	200,000	200,000	176,000	NL No.23作成費を含む
(6) 表彰論文選考委員会	70,000	100,000	55,000	
(7) 災害支援のあり方検討委員会	198,000	200,000	228,438	
(8) 実践促進委員会	189,000	100,000	0	
(9) 次世代育成推進委員会	123,000	100,000	48,132	
(10) 地域看護関連学会合同委員会	0			
7 選挙運営費	300,000	0	0	
(1) 選挙管理等受付管理費	220,000	0	0	
(2) 代議員選挙運営費	0	0	0	
(3) 役員選挙運営費	50,000	0	0	
(4) 選挙管理委員会会議費	30,000	0	0	
8 諸会費	100,000	100,000	100,000	
(1) 日本看護系学会協議会	80,000	80,000	80,000	
(2) 全国公衆衛生関連学協会連絡協議会	20,000	20,000	20,000	
9 雑費	50,000	50,000	0	
事業費小計	19,009,000	21,320,000	17,339,110	

項 目	2024年度 予 算	2023年度 予 算	2023年度 決 算	備 考
管理費支出				
1 会議費	300,000	250,000	179,412	
(1) 理事会	200,000	200,000	99,772	監査会議費・Web会議費用を含む
(2) 社員総会	100,000	50,000	79,640	
2 交通・宿泊費	400,000	1,100,000	407,226	
3 印刷費	400,000	400,000	348,550	会議資料・封筒・年会費請求書等印刷費
4 発送費	600,000	400,000	584,964	年会費請求書・入会通知・学術集会案内等発送費
5 ホームページ等管理費	1,000,000	400,000	1,287,000	会員専用サイト管理費・メールングリスト配信費用を含む
6 業務委託費	3,500,000	3,500,000	3,273,050	
7 租税公課	70,000	70,000	70,000	法人税
8 雑費	1,640,000	120,000	103,950	
(1) 振込手数料	40,000	40,000	48,950	振込手数料・振替通知書発行手数料
(2) その他	1,600,000	80,000	55,000	ホームページ改修費・会員専用サイト構築費等
管理費小計	7,910,000	6,240,000	6,254,152	
(C) 当期支出合計	26,919,000	27,560,000	23,593,262	
(A・C) 当期収支差額	△ 805,800	620,100	3,627,355	
(B・C) 次期繰越金	32,023,072	29,821,617	32,828,872	

一般社団法人日本地域看護学会 名誉会員候補者

※敬称略

No.	氏 名	所 属
1	村嶋 幸代	湘南医療大学大学院

推薦理由

長年にわたり役員を務められ、本学会の発展に多大なるご尽力をいただいた。

役 員 歴：理事 7 期（2000～2018 年度）、そのうち 2 期（2009～2014 年度）は理事長
監事 2 期（2019～2022 年度）

学術集会長：第 20 回学術集会長（2017 年）

一般社団法人日本地域看護学会 2023～2024 年度役員名簿

理 事 長

麻原 きよみ （大分県立看護科学大学）

副理事長

岸 恵美子 （東邦大学大学院）

河野 あゆみ （大阪公立大学）

理 事

秋山 正子 （㈱ケアーズ白十字訪問看護ステーション） 佐藤 紀子 （千葉県立保健医療大学）

石田 千絵 （日本赤十字看護大学） 田口 敦子 （慶應義塾大学）

大森 純子 （東北大学大学院） 田村 須賀子 （富山大学）

岡本 玲子 （大阪大学大学院） 永田 智子 （慶應義塾大学）

蔭山 正子 （大阪大学高等共創研究院） 鳩野 洋子 （九州大学大学院）

小西 かおる （大阪大学大学院） 三森 寧子 （千葉大学）

小林 真朝 （聖路加国際大学）

監 事

荒木田美香子 （川崎市立看護大学）

宮崎 美砂子 （千葉大学大学院）

一般社団法人日本地域看護学会 2023～2026 年度社員名簿

代 議 員

秋山 正子 (㈱ケアーズ白十字訪問看護ステーション)	坂本 真理子 (愛知医科大学)
麻原 きよみ (大分県立看護科学大学)	佐藤 紀子 (千葉県立保健医療大学)
荒木田美香子 (川崎市立看護大学)	佐藤 由美 (群馬大学大学院)
有本 梓 (横浜市立大学大学院)	塩見 美抄 (京都大学大学院)
安齋 由貴子 (清泉女学院大学)	鈴木 良美 (東京医科大学)
安藤 智子 (千葉科学大学)	田口 敦子 (慶應義塾大学)
石垣 和子 (前石川県立看護大学)	田高 悦子 (北海道大学大学院)
石田 千絵 (日本赤十字看護大学)	田中 美延里 (愛媛県立医療技術大学)
石橋 みゆき (千葉大学大学院)	田村 須賀子 (富山大学)
石丸 美奈 (千葉大学大学院)	都筑 千景 (大阪公立大学大学院)
和泉 比佐子 (神戸大学大学院)	富田 早苗 (川崎医療福祉大学)
入野 了士 (愛媛県立医療技術大学)	永井 眞由美 (安田女子大学)
岩本 里織 (神戸市看護大学)	長江 弘子 (亀田医療大学)
上野 昌江 (四天王寺大学)	永田 智子 (慶應義塾大学)
牛尾 裕子 (山口大学大学院)	西嶋 真理子 (愛媛大学大学院)
大川 聡子 (関西医科大学)	西出 りつ子 (名古屋学芸大学)
大木 幸子 (杏林大学)	野村 陽子 (名寄市立大学)
大澤 真奈美 (群馬県立県民健康科学大学)	鳩野 洋子 (九州大学大学院)
大森 純子 (東北大学大学院)	春山 早苗 (自治医科大学)
尾形 由起子 (福岡県立大学)	平澤 則子 (長岡崇徳大学)
岡本 玲子 (大阪大学大学院)	平野 美千代 (札幌医科大学)
奥田 博子 (国立保健医療科学院)	細谷 紀子 (千葉県立保健医療大学)
表 志津子 (金沢大学)	松尾 和枝 (福岡女学院看護大学)
蔭山 正子 (大阪大学高等共創研究院)	松下 光子 (岐阜県立看護大学)
門間 晶子 (名古屋市立大学)	宮崎 美砂子 (千葉大学大学院)
亀井 智子 (聖路加国際大学大学院)	村嶋 幸代 (湘南医療大学大学院)
川崎 涼子 (長崎大学)	守田 孝恵 (獨協医科大学)
岸 恵美子 (東邦大学大学院)	安田 貴恵子 (長野県看護大学)
北山 三津子 (岐阜県立看護大学)	柳澤 理子 (愛知県立大学)
合田 加代子 (大阪歯科大学)	矢庭 さゆり (新見公立大学大学院)
河野 あゆみ (大阪公立大学)	山崎 洋子 (山梨市役所)
小西 かおる (大阪大学大学院)	山田 洋子 (岐阜県立看護大学)
斉藤 恵美子 (東京都立大学大学院)	横山 美江 (大阪公立大学大学院)
佐伯 和子 (富山県立大学)	吉田 礼維子 (天使大学)